

HP Connect-It

ソフトウェアバージョン : 4.0

TCM統合

ドキュメントリリース日 : 29 April 2009
ソフトウェアリリース日 : April 2009



法的制限事項

Copyright Notices

© Copyright 1994-2009 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

限定保証条項

機密コンピュータソフトウェア。

所有、使用、または複製するには、HP からの有効なライセンスが必要です。

FAR 12.211および12.212準拠。商用コンピュータソフトウェア、コンピュータソフトウェアマニュアル、技術データは、ベンダの標準商用ライセンスに基づき、米国政府にライセンス供与されています。

保証

HP製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の明示的保証規定に記載されているものに限られます。

本書のいかなる内容も当該保証に新たに保証を追加するものではありません。

HPは、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねます。

ここに記載されている情報は、予告なしに変更されることがあります。

商標

- Adobe®, Adobe logo®, Acrobat® and Acrobat Logo® are trademarks of Adobe Systems Incorporated.
- Corel® and Corel logo® are trademarks or registered trademarks of Corel Corporation or Corel Corporation Limited.
- Java™ is a US trademark of Sun Microsystems, Inc.
- Microsoft®, Windows®, Windows NT®, Windows® XP, Windows Mobile® and Windows Vista® are U.S. registered trademarks of Microsoft Corporation.
- Oracle® is a registered trademark of Oracle Corporation and/or its affiliates.
- UNIX® is a registered trademark of The Open Group.

目次

概要	5
範囲ならびに対象読者	5
必須バージョン	5
1. 統合の準備	7
コンピュータテーブルの変更 (amComputer)	7
ウィザードの作成	11
ユーザ権限の変更	13
TCMパッケージモデルの親モデルの作成	13
2. 統合テスト	15
シナリオ構成	16
3. シナリオの実行	19
インベントリシナリオ (tcmac.scn)	19
ソフトウェアインポートシナリオ (sp_tcmac.scn)	20
配布シナリオ (di_tcmac.scn)	20
更新シナリオ (up_tcmac.scn)	21

概要

本マニュアルでは、**Tivoli Configuration Manager**と**Asset Manager**との間の統合に関する主要な事項を取り上げています。統合、シナリオ、またはカスタマイズの詳細や踏み込んだ解説については、**Tivoli Configuration Manager**、**Asset Manager**の各ユーザガイドのいずれかまたは両方を参照してください。

範囲ならびに対象読者

本マニュアル、およびすべての関連マニュアルは本来、製品拡張と統合の改善を目的として、**HP**社内向け、特に研究開発マーケティング部門向けに書かれています。

このため、適切なユーザガイドとしての要件を満たしてはませんが、統合処理の技術支援を目的として、**Connect-It**に添付されています。**Hewlett-Packard Development Company, L.P.**は、**Connect-It**の今後のバージョン向けに本マニュアルの機能内容を拡張する権限を有します。

必須バージョン

この統合プロジェクトは、以下のソフトウェアバージョンと互換です。

ソフトウェア	バージョン
Tivoli Configuration Manager	4.2
Asset Manager	4.1以上
Connect-It	3.2.1以上

先に進む前に、本ソフトウェアがシステムに正しくインストールされ、構成されていることを確認してください。

1 統合の準備

本章では、両製品の統合をテストする前に完了しておく事前準備手順の詳細を説明します。



Asset Managerデータベースに変更を行う前に、完全バックアップを行うことを強く推奨します。

コンピュータテーブルの変更 (amComputer)

この手順では、統合処理で必要となるフィールドを追加することで、**amComputer**データベースの構造を変更します。これには、Asset Manager Database Administratorを実行して、**amComputer**をテーブルのリストから選択します。

追加フィールドの作成

以下に挙げる2つの追加フィールドを**amComputer**テーブルに作成します。

- 1 **DistributionID**
- 2 **seTCMCurrentState**

DistributionIDフィールドを作成するには：

- 1 **Display/ Fields**メニューを選択します。
- 2 **New**をクリックします。
- 3 表示されているウィンドウにあるフィールドに、以下のテーブルに含まれる情報を入力します。

フィールド	値
SQL名	DistributionId
ラベル	DistributionId
説明	Tivoli Distribution ID
タイプ	テキスト

- 4 **General**タブにある**Size**フィールドを**32**に設定します。

seTCMCurrentStateフィールドを作成するには：

- 1 **Display/ Fields**メニューを選択します。
- 2 **New**をクリックします。
- 3 表示されているウィンドウにあるフィールドに、以下のテーブルに含まれる情報を入力します。

フィールド	値
SQL名	seTCMCurrentState
ラベル	TCM Current State
説明	TCM Current State
タイプ	システムリストデータ

- 4 **General**タブにある**Format**フィールドを以下の値に設定します。

No Distribution 0 Distribution request performed in AssetCenter 1 Distribution request sent to TCM 2 Distribution pending 3 Distribution successful 4 Distribution failed 5

追加リンクの作成

TCMErrMsgリンクを作成するには：

- 1 コンピュータテーブル (**amComputer**) をテーブルのリストから選択します。
- 2 **Display/ Links**メニューを選択します。
- 3 **New**をクリックします。
- 4 表示されているウィンドウにあるフィールドに、以下のテーブルに含まれる情報を入力します。

フィールド	値
リンクタイプ	Own1
ソース	
テーブル	amComputer
SQL名	TCMErrMsg
ラベル	TCM Error Message
説明	TCM Error Message
ターゲット	
テーブル	amComment
SQL名	TCMComment
ラベル	TCMComment
説明	TCMComment

追加ページの作成

PgDistributionページを作成するには：

- 1 コンピュータテーブル (**amComputer**) をテーブルのリストから選択します。
- 2 **Display/ Pages**メニューを選択します。
- 3 **New**をクリックします。
- 4 **General**タブにあるフィールドに、以下のテーブルに含まれる情報を入力します。

フィールド	値
SQL名	PgDistribution
ラベル	配布
説明	配布
ドメイン	Portfolio

- 5 **Create**をクリックします。
- 6 **Content**タブを選択し、作成したフィールドとリンクを**DistributionId**、**seTCMCurrentState**、**TCMErrMsg**の順番で追加します。
- 7 **Display/ Screens**メニューを選択します。
- 8 **sysamComputer**画面を選択します。
- 9 **Pages**タブをクリックし、新規ページを詳細ページに追加します (▶ボタン)。
- 10 **Modify**をクリックします。

詳細画面の変更

amComputerテーブルの以下に挙げる2つの新規詳細画面を変更します。

- 1 SQL名が**sysamComputer**である画面
 - 2 SQL名が**sysamComputerDa**である画面
- これを行うには、以下の手順を実行します。
- 1 コンピュータテーブル (**amComputer**) をテーブルのリストから選択します。
 - 2 **表示/詳細**メニューを選択します。このリストには、先に説明した2つの画面が含まれています。
 - 3 **sysamComputer**というSQL名の画面を選択し、以下に挙げる操作を実行します。
 - ボタンタブをクリックします。
 -  をクリックし、以下のテーブルに含まれる情報を参考に、新規ボタンに関連する情報の各項目を編集します。

フィールド	値
名前	TCMDist
テキスト	&TCM Dist.
説明	Tivoli Distribution
関連アクション	A:TCM_Package_Distribution
妥当性	(スクリプト)
	RetVal = ([seTCMCurrentState] = 0 OR [seTCMCurrentState] > 3)

- ボタンタブをクリックし、先ほど作成した**PgDistribution**ページを追加します。
 - 変更を確認します。
- 4 **sysamComputerDa**というSQL名の画面を選択し、以下に挙げる操作を実行します。
 - ボタンタブをクリックします。
 -  をクリックし、以下のテーブルに含まれる情報を参考に、新規ボタンに関連する情報の各項目を編集します。

フィールド	値
名前	TCMDistDA
テキスト	&TCM Dist.
説明	Tivoli Distribution
関連アクション	A:TCM_Package_Distribution

妥当性

(スクリプト)

RetVal = ([seTCMCurrentState] = 0 OR [seTCMCurrentState] > 3)

- ボタンタブをクリックし、先ほど作成した**PgDistribution**ページを追加します。
- 変更を確認します。

ウィザードの作成

この手順では、コネクタとしてAsset Managerデータベースに接続します。ここで、統合用の新しいウィザードを作成します。

- 1 ツール/アクション/編集メニューを選択します。
- 2 新規作成をクリックします。
- 3 新規アクションのタイプをウィザードとし、以下の表にある情報を入力します。

フィールド	値
名前	Package Distribution
コンテキスト	amComputer
タイプ	ウィザード
SQL名	TCM_Package_Distribution
ドメイン	/Portfolio/
属性	TCM
作成者	Admin

- 4 ウィザードタブを選択し、**A**アイコンをクリックして、テキスト行を以下のプログラムで置き換えます。

```
{ GLOBAL =  
Dim strMsgInProgress As String  
}  
NAME = "tcmpackdist"  
TITLE = "TCM Package distribution"  
TRANSITION = ""  
VERSION = "3264"  
{ START START  
{ DO =  
strMsgInProgress="TCM delivery already in progress,Please try later"  
}  
TO = "PAGE1"
```

```

}
{ PAGE PAGE1
TITLE = RetVal="TCM Package distribution on " & [Name]
{ LABEL ERRMSG
CAPTION = RetVal="<b><center>" & strMsgInProgress & "</center></b>"
VISIBLE = RetVal=( [seTCMCurrentState] > 0 AND [seTCMCurrentState] <
6)
}
{ DBLISTBOX dbTCMInstall
COLNAME = "Name"
FILTER = "Parent.Barcode='TCMPACKAGE'"
LABEL = "TCM Packages list"
MANDATORY = 1
READONLY = RetVal=( [seTCMCurrentState] > 0 AND [seTCMCurrentState]
< 4)
TABLE = "amModel"
TREE = 0
VALUE = "-1"
}
}

{ FINISH FINISH
{ DO =
if [seTCMCurrentState] = 0 OR ([seTCMCurrentState] >= 4)Then
Dim strModelName As String, lErr As Long
Dim hr As Long
hr=amGetRecordFromMainId("amComputer", [ComputerId])
lErr=amSetFieldLongValue(hr, "seTCMCurrentState", 1)
lErr=amSetFieldStrValue(hr, "DistributionId", "")
lErr=amSetFieldStrValue(hr, "TCMErrMsg.memComment", " ")
lErr=amUpdateRecord(hr)
lErr = AmReleaseHandle(hr)

hr = AmCreateRecord("amOutputEvent")

strModelName = amDbGetString("SELECT Name FROM amModel WHERE
lModelId=" & {PAGE1.dbTCMInstall})
lErr = AmSetFieldStrValue(hr, "Category", "TCM" )
lErr = AmSetFieldStrValue(hr, "memMessage", CHR(34) & "@" & strModelName
& CHR(34) & "@" & [Name])
lErr = AmInsertRecord(hr)
if lErr = 0 Then
amlog("Order to deploy " & strModelName & " on " & [Name] & " sent.")

```

```

else
amlog("Problem during event creation. Deployment not submitted")
end if
lErr = AmReleaseHandle(hr)
lErr = amProgress(100)
else
amlog(strMsgInProgress)
amLog("Distribution Id being installed: " & [DistributionId] & " Current state
:" & [seTCMCurrentState])
end if
}
SUMMARY = 1
}

```

ユーザ権限の変更

これから、作成したばかりの新規フィールドとリンクを考慮するため、**amComputer**テーブルのユーザ権限を変更します。これを行うには、以下の手順を実行します。

- 1 管理/ユーザ管理メニューを選択します。
- 2 統合のコンテキストで、データベースに接続するログインに関連する各ユーザ権限について、先に作成したフィールドとリンクのユーザ権限 (**DistributionId**、**seTCMCurrentState**、**TCMErrMsg**) を指定する必要があります。これらのフィールドには、完全な権限（読み込み、挿入、および更新）を与えることを推奨します。

TCMパッケージモデルの親モデルの作成

以下の手順を実行します。

- 1 ポートフォリオ/モデルメニューを選択します。
- 2 以下の表にある情報で新規モデルを作成します。

フィールド	値
名前	TCM Packages
ブランド	IBM
バーコード	TCMPACKAGE
属性	ソフトウェアのインストール（オプション）



注意:

Connect-Itは、このモデルにTCMパッケージを格納します。

これで統合に向けたデータベースの準備が整いました。

2 統合テスト

Asset ManagerとTivoli Configuration Managerとの統合用として、以下のシナリオがConnect-Itに用意されています。

- 以下のディレクトリのどちらかにある、標準インベントリシナリオのtcmac.scn
 - scenario\tivoli\tcm\tcm42ac41（Asset Manager 4.1.xまたは4.2.xの統合用）
 - scenario\tivoli\tcm\tcm42ac43（Asset Manager 4.3.xの統合用）
- scenario\tivoli\tcm_sd\tcmsd42ac43ディレクトリにある、Asset Manager 4.3.xとの統合用ソフトウェア配布シナリオ

以下はそれぞれのシナリオに関する簡単な説明です。

- **tcmac.scn**：このシナリオは、インベントリとソフトウェアのインストールのデータをインポートします。
- **di_tcmsdac.scn**：Asset Managerでソフトウェアのインストール要求があると、Asset Managerの出力イベントテーブルにイベントが保存されます。このシナリオは、これらのイベントを読み込み、TCMのソフトウェアのインストールコマンドを実行します。
- **sp_tcmsdac.scn**：このシナリオは、Tivoli Configuration Managerで定義されたソフトウェアパッケージをインポートします。
- **up_tcmsdac.scn**：このシナリオは、進行中であるソフトウェアのインストールのステータスに関する情報を、Asset Managerに伝播します。

注意:

統合をテストする前に、前の章にある全手順が適切に実行されていることを確認してください。

シナリオ構成

配布シナリオ (di_tcmac.scn)

 **警告:**

- このシナリオは、TRMサーバ上で実行する必要があります。
- Asset Managerが「可視」であるコンピュータ、つまりデータベース層とAsset Managerがローカルにインストールされ、データベースに接続するように構成されているコンピュータ上で、このシナリオを実行する必要があります。

Connect-Itインストールフォルダの以下のサブフォルダにあるdi_tcmac.scnシナリオを読み込みます。

```
scenario\tivoli\tcm_sd\tcmsd42ac43
```

以下の手順を実行します。

- 1 **Asset Manager**コネクタを右クリックします。
- 2 **Configurer le connecteur**を選択します。Connect-Itにより、コネクタ構成ウィザードが開始します。
- 3 **Next**をクリックしてAsset Managerデータベースへの接続を構成します。**Connection**、**Login**および**Password**フィールドに入力します。
- 4 **Finish**をクリックします。

Connect-ItをUNIX上で実行している場合、Connect-Itに備わっているシェルスクリプトを更新する必要があります。

- 1 マッピングボックスをクリックし、**Mappings**タブをクリックします。
- 2 マッピングを選択しダブルクリックして、編集します。
- 3 **Command**要素の**Name**サブ要素のマッピングスクリプトを変更し、以下の値に設定します。

```
scenario\tivoli\tcm_sd\tcmsd42ac43\tcm.sh
```

インベントリシナリオ (tcmac.scn)

 **警告:**

- このシナリオは、TRMサーバ上で実行する必要があります。
- Asset Managerが「可視」であるコンピュータ、つまりデータベース層とAsset Managerがローカルにインストールされ、データベースに接続するように構成されているコンピュータ上で、このシナリオを実行する必要があります。

使用しているAsset Managerバージョンに対応するサブディレクトリにあるtcmac.scnシナリオを読み込みます。

以下の手順を実行します。

- 1 **Tivoli Configuration Manager**コネクタを右クリックします。
- 2 **Configurer le connecteur**を選択します。Connect-Itにより、コネクタ構成ウィザードが開始します。
- 3 **Next**を2回クリックし、Asset Managerデータベースへの接続を構成します。**ODBC data source**、**Login**、および**Password**フィールドに入力します。
- 4 **Tester**をクリックして、接続をテストします。
- 5 **Finish**をクリックします。

 **注意:**

配布シナリオの場合と同様に、**Asset Manager**コネクタを構成します。

ソフトウェアインポートシナリオ (sp_tcmac.scn)

 **警告:**

- このシナリオは、TRMサーバ上で実行する必要があります。
- Asset Managerが「可視」であるコンピュータ、つまりデータベース層とAsset Managerがローカルにインストールされ、データベースに接続するように構成されているコンピュータ上で、このシナリオを実行する必要があります。

Connect-Itインストールフォルダの以下のサブフォルダにあるsp_tcmac.scnシナリオを読み込みます。

```
scenario\tivoli\tcm_sd\tcmsd42ac43
```

インベントリシナリオの場合と同様に、**Asset Manager**と**Tivoli Configuration Manager**の各コネクタを構成します。

更新シナリオ (up_tcmac.scn)

 **警告:**

- このシナリオでは、MDist2サーバにあるDIST_STATEテーブルからデータを取得します。
- Asset Managerが「可視」であるコンピュータ、つまりデータベース層とAsset Managerがローカルにインストールされ、データベースに接続するように構成されているコンピュータ上で、このシナリオを実行する必要があります。

Connect-Itインストールフォルダの以下のサブフォルダにあるup_tcmac.scnシナリオを読み込みます。

scenario\tivoli\tcm_sd\tcmsd42ac43

インベントリシナリオの場合と同様に、**Asset Manager**と**Tivoli Configuration Manager**の各コネクタを構成します。

3 シナリオの実行

本章では、Asset ManagerとTivoli Configuration Managerとの統合のコンテキストで実行できる、その他のシナリオに関する情報を示します。

インベントリシナリオ (tcmac.scn)

- 1 使用しているAsset Managerバージョンに対応するサブディレクトリにあるtcmac.scnシナリオを読み込みます。
- 2 ▶をクリックして生成を開始します。

 **注意:**

このシナリオでは、インベントリ情報のみが処理されます。

- 3 エラーが発生しなければ、Asset Managerデータベースにコンピュータに関する情報が入力されます。このシナリオを実行することで、以下のテーブルの詳細とテーブル（およびフィールドとリンク）が影響を受けます。

該当アプリケーション	該当テーブル、フィールド、またはリンク	読み取り	書き込み
Asset Manager	amComputer.Name		X
	amModel.Name		X
	amModel.Nature.Code		X

該当アプリケーション	該当テーブル、フィールド、またはリンク	読み取り	書き込み
	amModel.Parent.BarCode		X
Tivoli Configuration Manager			
	COMPUTER/TME_OBJECT_ID	X	
	COMPUTER/TME_OBJECT_LABEL	X	

ソフトウェアインポートシナリオ (sp_tcmac.scn)

- 1 Connect-Itインストールフォルダの以下のサブフォルダにあるsp_tcmac.scnシナリオを読み込みます。

```
scenario\tivoli\tcm_sd\tcmsd42ac43
```

- 2 ▶をクリックして生成を開始します。
- 3 エラーが発生しなければ、Asset Managerデータベースにソフトウェアに関する情報が入力されます。このシナリオを実行することで、以下のテーブルの詳細とテーブル（およびフィールドとリンク）が影響を受けます。

該当アプリケーション	該当テーブル、フィールド、またはリンク	読み取り	書き込み
Asset Manager			
	amComputer.Name		X
	amModel.Name		X
	amModel.Nature.Code		X
	amModel.Parent.BarCode		X
Tivoli Configuration Manager			
	SD_PACKAGES/SWARE_NAME	X	
	SD_PACKAGES/SWARE_VERS	X	

配布シナリオ (di_tcmac.scn)

- 1 Connect-Itインストールフォルダの以下のサブフォルダにあるdi_tcmac.scnシナリオを読み込みます。

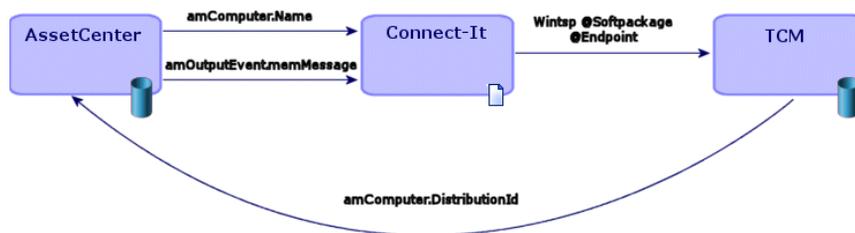
```
scenario\tivoli\tcm_sd\tcmsd42ac43
```

- 2 ▶をクリックして生成を開始します。
- 3 エラーが発生しなければ、ソフトウェアのインストール要求がTivoli Configuration Managerに送信されます。このシナリオを実行することで、

以下のテーブルの詳細とテーブル（およびフィールドとリンク）が影響を受けます。

該当アプリケーション	該当テーブル、フィールド、またはリンク	読み取り	書き込み
Asset Manager			
	amOutputEvent.memMessage	X	
	amComputer.DistributionId		X
	amComputer.Name	X	
	amComputer.seTCMCurrentState		X

以下の図は処理のワークフローの詳細を表しています。



Connect-Itは、以下のコマンドを実行します。

```
winstsp -u y @Softpackage @Endpoint
```

ここで、パラメータには以下の値を使用します。

- **Softpackage** : amOutputEvent.memMessage
- **Endpoint** : amComputer.Name

注意:

-u yオプションを使用します。パッケージはリバーシブルモードでインストールされます。このため、問題が発生してもインストールをキャンセルできます。

更新シナリオ（up_tcmac.scn）

- 1 Connect-Itインストールフォルダの以下のサブフォルダにあるup_tcmac.scnシナリオを読み込みます。

```
scenario\tivoli\tcm_sd\tcmsd42ac43
```

- 2 ▶をクリックして生成を開始します。
- 3 エラーが発生しなければ、Tivoli Configuration Managerに示されているソフトウェアのインストールのステータスが、Asset Managerに伝播します。このシナリオを実行することで、以下のテーブルの詳細とテーブル（およびフィールドとリンク）が影響を受けます。

該当アプリケーション	該当テーブル、フィールド、またはリンク	読み取り	書き込み
Tivoli Configuration Manager	DIST_STATE/COMPLET_COUNT	X	
	DIST_STATE/WAITING_COUNT	X	
	DIST_STATE/FAILED_COUNT	X	
Asset Manager	amComputer.DistributionId	X	
	amComputer.Name	X	
	amComputer.seTCMCurrentState		X

amComputer.seTCMCurrentStateフィールドが取り得る値：

ステータス	意味
No Distribution	Asset Managerがソフトウェア配布要求を行いました。
Distribution request performed in Asset Manager	Asset Managerユーザはソフトウェア配布要求を行いました、di_tcmac.scnシナリオがまだ要求を傍受していません。
Distribution request sent to TCM	Asset Managerが送信した要求をdi_tcmac.scnシナリオが傍受し、以下のコマンドを実行しました。
Distribution pending	winstsp -u y @Softpackage @Endpoint Tivoli Configuration Managerが送信したステータスをup_tcmac.scnシナリオが傍受し、DIST_STATE/WAITING_COUNTのステータスをTRUEに更新しました。
Distribution successful	Tivoli Configuration Managerが送信したステータスをup_tcmac.scnシナリオが傍受し、DIST_STATE/COMPLET_COUNTのステータスをTRUEに更新しました。
Distribution failed	Tivoli Configuration Managerが送信したステータスをup_tcmac.scnシナリオが傍受し、DIST_STATE/FAILED_COUNTのステータスをTRUEに更新しました。